

# 平成29年度 第40回全国高等学校柔道選手権大会群馬県予選 実施要項

主催 後援 日時 会場	群馬県高等学校体育連盟 群馬県教育委員会 群馬県高等学校体育連盟柔道専門部 群馬県柔道連盟 平成30年1月13日(土) 午前10時開始 男女個人試合 1月14日(日) 午前10時開始 男女団体試合 ALSOK群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館 第一道場 前橋市関根町800 電話 027-234-5555
競技規定	国際柔道連盟試合審判規定(2017-2020)ならびに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。 (1) 団体試合 ア 試合時間は3分(決勝のみ4分)とする。 イ 「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差2」とする。 ウ チームの勝敗の内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は「競技方法」で定める。 (2) 個人試合 ア 試合時間は3分とする。 イ 「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」以上とする。 ウ 試合終了時に技による評価が同等の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決める。
競技方法	(1) 団体試合 ①男子団体試合 ア トーナメント戦を行う。 イ 各チーム間の試合は勝ち抜き試合とする。また試合ごとにオーダーの変更ができる。 ウ 大将同士が引き分けの場合、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦の優勢勝ちの判定基準は「技あり」または「僅差」以上とし、試合終了時に得点差がない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。 ②女子団体試合 ア 各チーム間の試合は点取り試合とする。ただし、参加校が6校以下の場合、リーグ戦を行う。リーグ戦において、引き分けの場合は代表戦によって必ず勝敗を決する。 ※ 試合は各チーム3名で行い、試合ごとのオーダー変更は行わない。 ※ リーグ戦において、同点で1位となったチームが2チームの場合は本戦の結果による。3チーム以上の場合、代表戦をトーナメント方式で行う。 イ チーム対チームの勝敗は以下の項目に従って決定する。 [1] 勝ち数の多いチームを勝ちとする。 [2] [1] で同等の場合は「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。 *ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。 [3] [2] で同等の場合は「技あり」による勝ちが多いチームを勝ちとする。 [4] [3] で同等の場合は代表戦を行う。 代表戦は引き分け対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。代表戦の優勢勝ちの判定基準は「技あり」または「指導1」以上とする。なお、引き分け対戦がない場合は、両者反則負けなどで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、引き分け対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。 (2) 男女個人試合 ア トーナメント戦を行う。

引率・監督	<p>(1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(ただし、公立学校にあつては教員とする。)</p> <p>(2) 選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。</p> <p>(3) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。</p>
参加資格	<p>(1) 参加選手は、本連盟柔道専門部に登録した者であつて、平成11年4月2日以降に生れた者で1、2年生に限る。但し、同一学年での出場は1回限りとする。</p> <p>(2) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。</p> <p>(3) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない。但し、一家転住の場合は特例として参加を認める。</p> <p>(4) 参加選手は予め健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。</p>
出場制限	<p>(1) 男子団体試合 1校1チーム 監督1名、選手5名、補欠1名、計7名とする。選手2名以上でエントリーできる。</p> <p>(2) 女子団体試合 1校1チーム 監督1名、選手3名、補欠2名、計6名とする。選手の配列は、先鋒：52kg以下、中堅：63kg以下、大将：無差別級とする。但し、体重の軽いものは重い階級に出場できる。また補欠は該当する階級に出場できる。</p> <p>(3) 男子個人試合 1校監督1名、選手各階級4名以内の計15名以内とする。(無差別の選手は他の階級を兼ねる事はできない) 階級は60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、無差別の5階級とする。</p> <p>(4) 女子個人試合 1校監督1名、選手の出場数は制限しない。 階級は48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、無差別の5階級とする。</p>
表彰	<p>男女団体試合の優勝校に優勝カップ、1～3位校に表彰状を授与する。</p> <p>個人試合の各階級1～3位に表彰状を授与する。</p>
参加料	<p>1チーム 3,500円 個人試合 1名 1,000円</p> <p>大会当日に受付で監督が納入する。</p>
申し込み	<p><b>11月27日(月)までに必着。</b> 下記事務局にメールと郵送の両方で申し込む。</p> <p>〒370-0861 群馬県高崎市八千代町2丁目4番1号 電話 027-324-0074</p> <p>高崎高校 田中 利明 メールアドレス <a href="mailto:toshi-tanaka@edu-g.gsn.ed.jp">toshi-tanaka@edu-g.gsn.ed.jp</a></p>
組合せ会議等	<p>12月6日(水)午後1時30分から県立渋川青翠高等学校(渋川市渋川3792-1)で常任委員会を行う。午後2時30分から常任委員、各校代表者で組み合わせ抽選を行う。</p>
選手変更	<p>個人試合の選手の変更は認めない。</p> <p>大会前日の午後5時までに、委員長に連絡する。</p> <p>団体試合の変更は、男子1名、女子1名を限度とする。伝染病その他天災による場合は特例を認める。</p> <p>大会当日、当該校長の証明書、医師の診断書、柔道整復師の証明書のいずれかを委員長に提出する。</p>
計量 受付 監督会議 その他	<p>1月13日(土)、午前8時30分～9時20分までに試合会場で行う。(時間内計量)</p> <p>大会当日、監督が午前8時30分～9時20分までに行う。</p> <p>大会当日、午前9時30分から第4会議室で行う。</p> <p>(1) 選手は所定のゼッケンをつける。</p> <p>(2) 大会当日、引率者は各自昼食を用意する。</p> <p>(3) 全国大会出場権 団体優勝校並びに各階級優勝者は平成30年3月20日(火)・21日(水・祝)日本武道館で行われる第40回全国高等学校柔道選手権大会の出場権を得る。但し団体戦における選手の数人は、男子は5名、女子は3名が出場の条件となる。</p> <p>(4) 女子団体上位4チームは次年度総体のシード権を得る。</p> <p>(5) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。</li> <li>2. 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)</li> <li>3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。</li> <li>4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。</li> </ol>